美術史・文化遺産実習1－Ⅳ

科目ナンバリング　FAH-402
選択必修　2単位

岡部　昌幸

1. 授業の概要（ねらい）

楽しく学ぶうちに、日本、西洋に限らず、美術、芸術、文化財で、広い分野や時代に対応できる人材を養成するための実習を行います。美術作品や文化遺産を扱う専門技術にふれ、現場を体験します。日本と世界の美術史・文化遺産の内容を学び、その保存と活用の基礎的知識を文献解読と見学等で十分に習得したうえで、実際の作品、遺産にふれていくことを基本とします。掛け軸、巻物、屏風、浮世絵・版画、洋画などの絵画作品、ブロンズや木彫などの彫刻、陶芸やガラスなどの工芸作品、服飾・着物、アンティークなどの装飾美術、古写真や現代写真などの中から、適宜、美術館・博物館、工房などの現場の協力を得ながら、その理解と扱いを学んでいきます。美術品流通についても学ぶ予定です。また研究論文、卒業論文のテーマを探し、調査研究の基礎的作業を行い、学芸員、専門職、研究職、教職、公務員等への就職につなげるための第1歩としたいと思います。

2. 授業の到達目標

学期中にさまざまな美術作品の理解と扱いに触れ、その魅力を知り、楽しく学び、技術の基礎を習得することを目標とします。グループワーク、フィールドワークを行い、プレゼンテーション力を高めます。

3. 成績評価の方法および基準

授業態度を50パーセント、課題作成を50パーセントで、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
岡部昌幸　『比べてわかる西洋絵画』　成美堂出版

5. 準備学修の内容

まず楽しみましょう。そして、良い人間関係をつくりましょう。自分が学ぶことが、自分の成長を導き、人や社会で役に立つことで充実感を得てください。授業への意欲、学友との協調性、社会貢献への意識を求めます。実習の実費を徴収することがあります。個人の予習・準備・復習・学習態度の状況によって、実習の進ませかた、成果の度合いが異なりますので、責任感をもって履修してください。

6. その他履修上の注意事項

各班に、教員が主導する学外授業がありますので必ず出席してください。

7. 授業内容

【第1回】　班分け
【第2回】　実習(入稿準備)
【第3回】　実習(入稿)
【第4回】　実習(版画)
【第5回】　学外授業
【第6回】　実習(ガラス)
【第7回】　実習(アンティーク)
【第8回】　実習(装束)
【第9回】　実習(着物)
【第10回】　実習(編集)
【第11回】　実習(浮世絵)
【第12回】　実習(掛軸)
【第13回】　学外授業
【第14回】　実習(校正)
【第15回】　発表